

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	外来における循環器疾患患者の看護実践に関する系統的レビュー・メタ分析				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	星 有紀
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	田中 範佳
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	山田 紋子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	林 みよ子
	発表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	星 有紀

講演題目	外来における循環器疾患患者の看護実践に関する系統的レビュー
------	-------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

近年、高齢者の増加で医療機関を受診する患者が増加している。特に、在院日数の短縮化や治療の高度化によって、外来診療で継続的に看護ケアを受ける患者の増加が目立つ。このような状況の中、心臓カテーテル治療などの低侵襲治療に伴う治療前後のオリエンテーション、治療に伴う症状コントロールに関する教育など、外来看護師に求められる役割は多岐に渡る。今後、外来診療が担う機能はさらに多様化・高度化することが予想され、同診療における看護ケアの充実が求められる。しかしながら、現在の外来看護において、科学的根拠に基づき確立された看護ケアが実践されているかは明らかでない。このことから、本研究では、系統的レビュー・メタ分析を行い、科学的根拠に基づいた看護ケア実践に関して、その現状と限界について明らかにすることを目的とした。

系統的レビューでは、循環器系疾患の患者を対象とした文献を検索対象とした。循環器系疾患において、心不全などの心疾患の多くは継続的な症状コントロールが必須である。また、循環器系疾患の外来患者数は消化器系疾患に続いて多く、日本の医療対策として優先順位が高い疾患群であるといえる。

本研究では、循環器系疾患をもつ外来患者に対してどのような看護ケアが提供されているかを調査目的とするため、検索対象とする看護ケアの種類は制限しなかった。同様に、幅広い文献を集め、整理することができるよう、研究デザインは、介入研究、観察研究のすべてを含むこととした。なお、日本語・英語以外の文献、学会抄録、会議録は除外した。検索は PubMed を用いて行い、検索式には以下のキーワードを含めた。

【検索キーワード】“Cardiovascular Diseases”[Mesh], “Nursing Care”[Mesh], “Nursing”[Subheading], “Nurse managed”, “Nurse-led”, “Nurse competence”, “Nurse role”, “Nurse skill”, “Outpatients”[Mesh], “outpatients”, “outpatient”。

PubMedによる検索の結果、484件の文献が抽出された。新型コロナウイルス感染症の流行もあり、近年の文献では、Nursing Teleconsultationに関する内容が多く見られた。また、外来患者に対する看護師主導の教育プログラム、セルフマネジメントプログラムの効果が示唆されていた。今後はより詳細なプログラムの具体的な内容のまとめが必要である。また、日本の文献が少なく、保健医療システムの違いによる外来看護実践への影響を考慮できないことも今後の課題であった。ますます重要性の増す外来診療・看護において、科学的に確立された看護ケアの提供促進が望まれる。